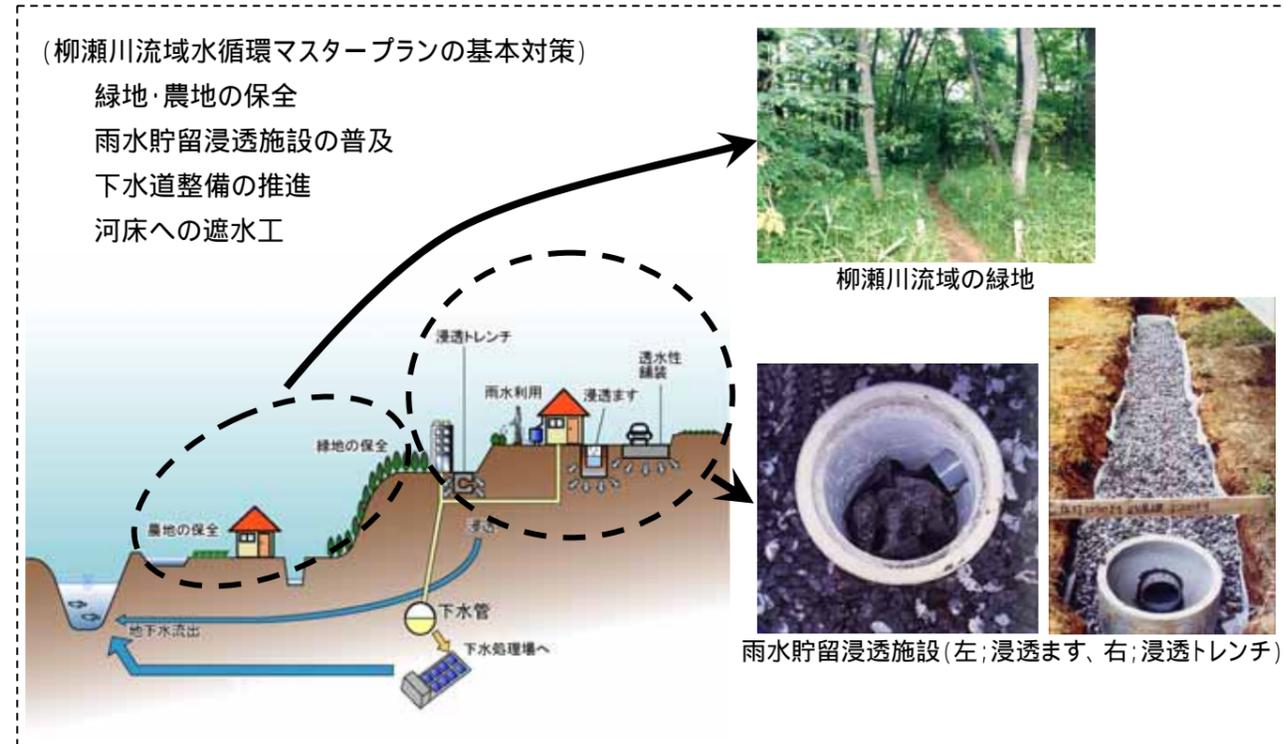
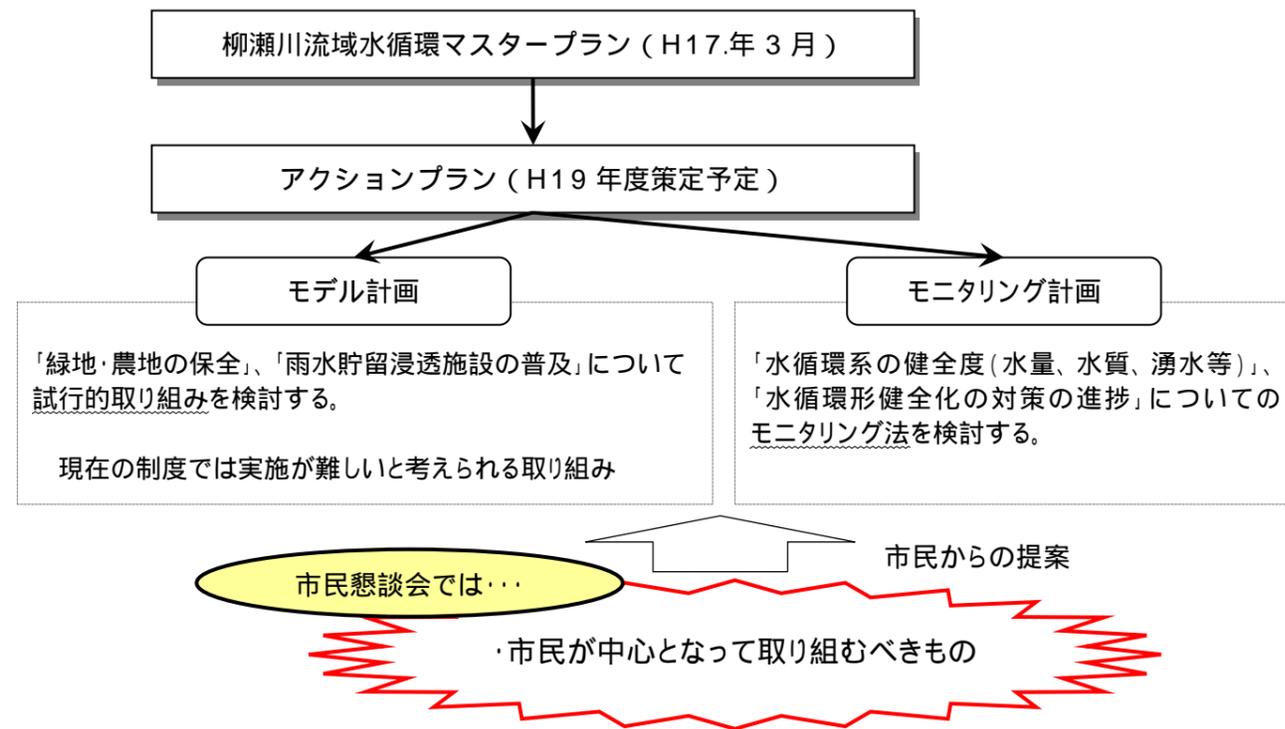


市民懇談会でめざす成果

1. 市民懇談会の目的

平成 16 年度、「柳瀬川流域水循環マスタープラン」が策定され、今年度は「モデル計画」と「モニタリング計画」からなる「アクションプラン」を検討している段階である。

この市民懇談会は、「モデル計画」と「モニタリング計画」のうち、市民が中心となって取り組むべきものについて市民から提案することを目的としている。



2. 市民懇談会のスケジュール

第 2 回市民懇談会 (H18.1.19 開催) では各ブロックに別れ、ブロックの現状 (良い点、悪い点等) について認識を共有することを目的に話し合いを行った。第 3 回市民懇談会では、前回の意見を参考にしながら各ブロックで「緑地・農地の保全」、「雨水貯留浸透施設の普及」のために市民が中心となって取り組むべきものについて話し合う。なお、本年度中に第 4 回市民懇談会を開催し、市民懇談会からの「モデル計画」、「モニタリング計画」に対する提案をとりまとめる予定である。

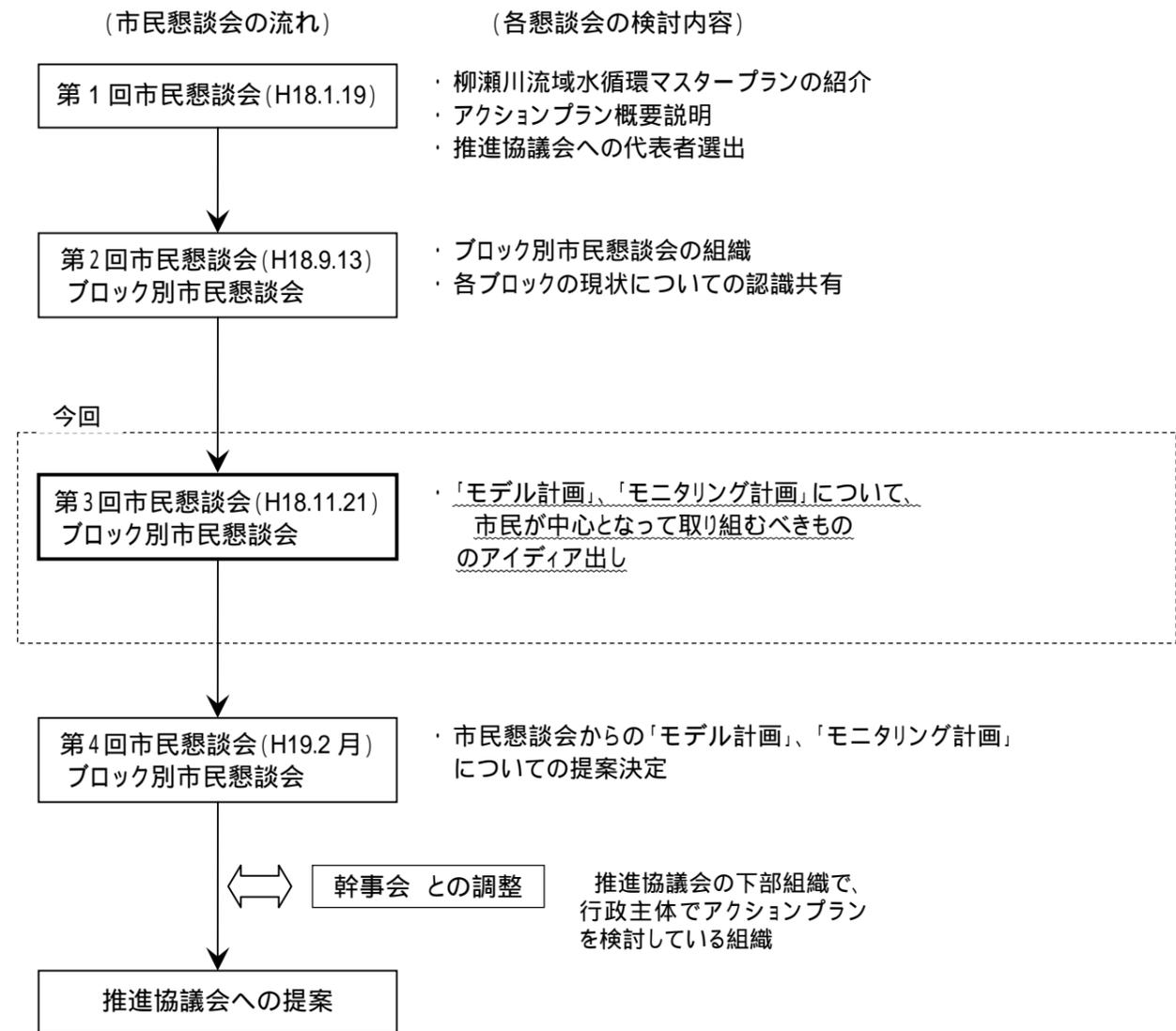


図 2-1 今回の懇談会の位置づけと検討内容

3. 議論の進め方

議論は、以下の原則に従うこととし、図 3-1 の流れで行うこととする。

柳瀬川流域水循環市民懇談会 参加の原則

それぞれの自由な立場で自由な発言を行う

互いの発言を尊重し合うこと

お互い真摯に納得のいくまで議論を行う

柳瀬川流域の望ましい流域像を実現するために、善意に基づき発言し行動する

行政あるいは市民が行う事業(活動)について、最終的に判断するのは、それぞれの事業(活動)主体である

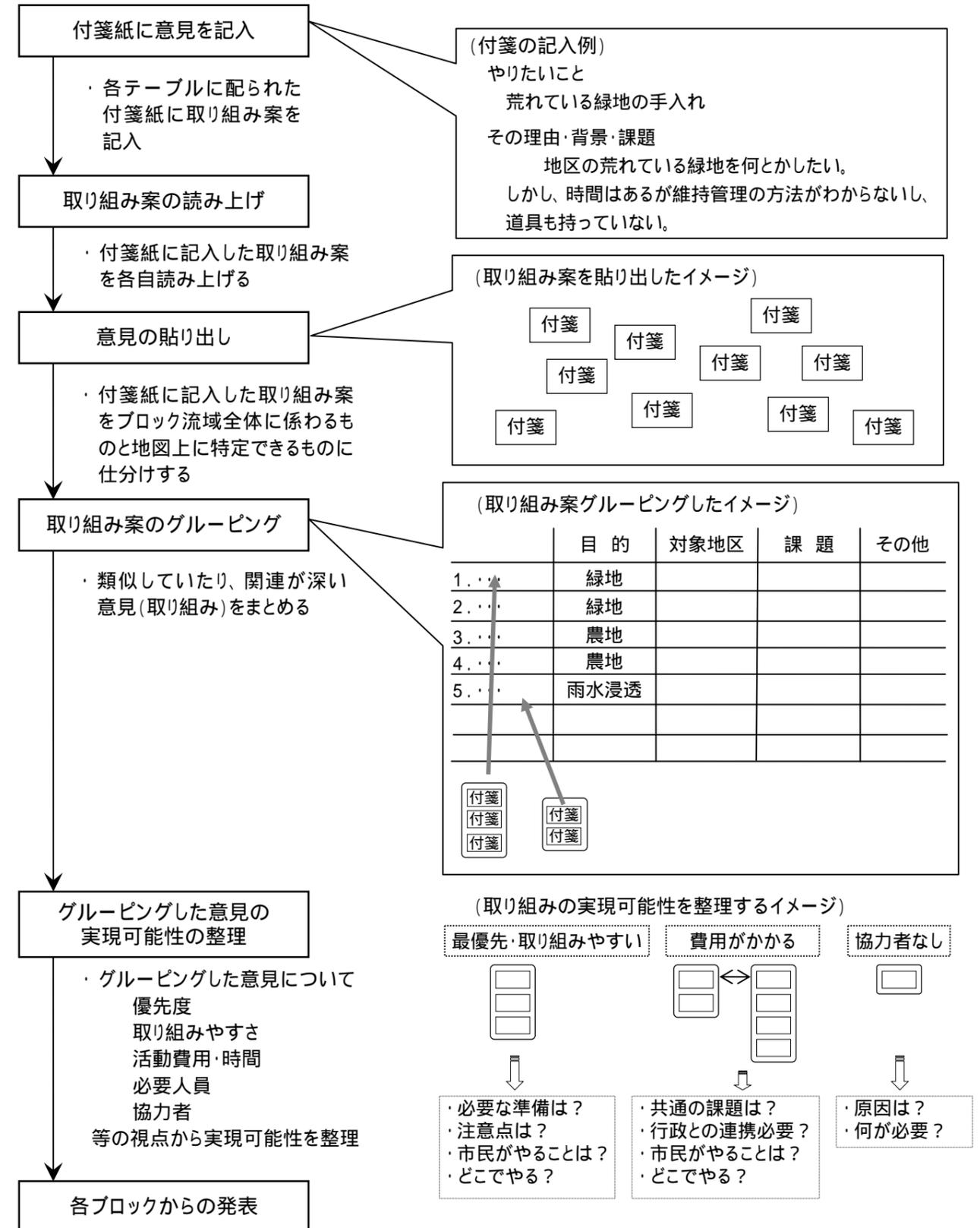


図 3-1 議論の流れ